

三方ヶ原の戦い

わすれない、この負け



一五七二年、武田信玄は、織田信長をたおして天下を取ろうと、二万五千人ともいわれる大軍で京都を目ざしました。その道の先にあったのが、徳川家康の浜松城です。味方だった信長も助けの軍を送りましたが、徳川軍と織田軍を合わせても一万人ほどでした。

ところが武田軍は、浜松城には目もくれず、目の前を通りすぎていきます。まるで「家康など相手にするまでもない」と言わんばかりです。このまま見送れば、家来たちに笑われてしまう。ついに、家康は止められるのも聞かず、城を飛び出しました。それこそが信玄のしかけたわなだったのです。

三方ヶ原で、武田軍は徳川軍をすでに待ちかまえていました。強い騎馬隊におそわれた家康の軍は、二時間ほどでぼろぼろになってしまいました。家康はおそろしさのあまり、馬の上でうんちをもらしながらにげ帰ったと伝えられます。家来に気づかれると「これはみそだ」と言い合った、という話も残っています。

家康は、こわさでうがんだ自分の顔を絵にかかせました。二度と同じ失敗をしないためです。この負けをわすれなかった家康が、のちの天下人になるのです。

せんたく(1)

ぶんしように合うものはどれですか？

えらんで○をつけましょう。

- ① 家康の軍は武田軍より多かった
- ② 信玄は三方ヶ原をさけて通った
- ③ 家康は止められても城を出た

せんたく(2)

しろを飛び出した家康の気持ちはどうですか？

えらんで○をつけましょう。

- ① ゆだんしている
- ② くやしくてたまらない
- ③ ほっとしている

きじゅつ(1)

家康の軍をおそった、武田の強い部隊は何ですか？

きじゅつ(2)

家康は、なぜ自分の顔を絵にかかせたのですか？

漢字

漢字に直して書きましょう。

(1) のうぎょう

(2) やね

(3) にもつ

こたえ

三方ヶ原の戦い
せんたく

(1) ③
(2) ②

きじゅつ

(1) 騎馬隊

(2) 二度と同じ失敗をしないため

漢字

(1) 農業

(2) 屋根

(3) 荷物